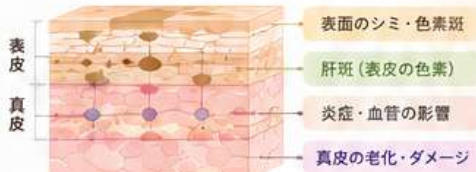


肝斑なのに、シミがある。

だから私たちは、最初から「トーニングだけ」ではありません。

肝斑の肌には、いくつもの色素トラブルが重なっています。

- ✓ 肝斑 (左右対称に広がる色素)
- ✓ シミ (老人性色素斑・雀斑など)
- ✓ 炎症後の色素沈着や色むら
- ✓ 紫外線による真皮の老化・炎症



点・面・深部・仕上げに分けて、
5か月かけて丁寧に治療していきます。

ホワイトニング 5回コース

肌の状態に合わせて、役割を変えながら治療します

1回目

点を取る＋ 真皮を整える

混在するシミを除去し、
深い部分から肌環境を改善



PicoWay
(スポット照射)

肝斑の中にある
目立つ色素斑を、
医師が見極めて
一点ずつ照射します。

PicoWay Resolve
(フラクショナル 1064nm)

真皮の深い層にLIOBを形成し、
コラーゲンの再生を促進。
肝斑がでやすい肌環境そのものを
整えます。



シミ(点)を除去し、真皮から肌を立て直す

2回目

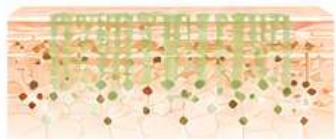
面を整える

細かい色素や色むらを
フラクショナルに治療



PicoWay
Resolve Fusion
(フラクショナル 532nm)

細かく散らばった色素や、
くすみ・色むらを
フラクショナルに整えます。



表皮の色素を細かく整える

3~5回目

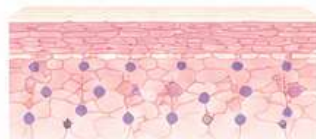
仕上げ(トーニング)

残った肝斑・色素沈着を
やさしく均一に



Spectra
(1064nm)
低出力トーニング

低出力の1064nmレーザーで、
肝斑・色素沈着・くすみを
やさしく少しずつ薄くし、
全体を均一に整えます。



全体をやさしく均一に上げる



治療のペース

1か月に1回、
合計5回の治療で、
肌を育てるように
改善していきます。

1回目

点取り＋真皮ケア

2回目

面の治療

3~5回目

仕上げ(トーニング)

強く攻める治療を
続けるのではなく、
肌の反応を見ながら
必要な治療を、必要な順番で。

なぜ、1種類のレーザーだけではダメなの？

肝斑の肌はとてもデリケート。
すべてを同じレーザーで繰り返すと、
刺激が蓄積して逆効果になることも。
役割の違うレーザーを順番に使うことで、
より安全に、より効果的に改善を目指します。



点の治療

目立つシミを
ピンポイントで除去



面の治療

細かい色素や色むらを
フラクショナルに改善



深部の治療

真皮にアプローチし、
肌の土台を整える



仕上げの治療

残った色素や色素沈着を
やさしく均一に

一般的なトーニング(5回)の場合

同じレーザーを繰り返し照射します。



- メリット 刺激が少なく、ダウンタイムがほぼない
- デメリット
- ・シミまで薄くするのに時間がかかる
 - ・効果を実感しにくいことがある
 - ・シミと肝斑を同時に十分に改善しにくい

ともスキンケアクリニックのホワイトニングコース(5回)の場合

肌の状態と目的に合わせて、レーザーの種類と役割を変えていきます。



期待できる効果

- ✓ 目立つシミを効率よく改善
- ✓ 肝斑や色むらをより早く、きれいに
- ✓ 肌全体の透明感・トーンアップ
- ✓ 再発しにくい肌環境づくり

安心して治療を受けていただくために



医師が毎回肌を診察し、
その時の状態に合わせて
治療を調整します。



刺激に敏感な肝斑肌にも
配慮し、やさしい出力で
丁寧に治療します。



レーザー治療と合わせて、
スキンケア・内服・
UVケアまでサポートします。



治療経過を記録し、
効果を確認しながら
進めていきます。

こんな方におすすめです

- ✓ 肝斑とシミが混在しているといわれた方
- ✓ レーザートーニングを繰り返しても満足できなかった方
- ✓ シミ取りをしたいが、肝斑があるので不安な方
- ✓ 顔全体の色むらやくすみを改善したい方
- ✓ その時の肌に合わせたオーダーメイド治療を受けたい方

シミを、一種類だと思わない。
それが、ともスキンケアクリニックのホワイトニング治療です。



ともスキンケアクリニック
TOMO SKINCARE CLINIC